

よその子って叱れますか？

藤) 子どもが生まれるまでは、理解できんと思ってたようなことも、よく見ていたら子どもなりの理由がちゃんとあったりして、面白いしかわいいなあって。そしたら他の子もかわいくなってきました。だから、僕は自分の子はもちろん、よその子でも結構怒りますよ。皆さんはどうですか？

奈)僕は怒れないタイプ。でも、それじゃ子どもにとっていかんと思って、意識的によその子でもうちの子でも注意するようにしています。

藤)ウチは、前に子ども同士のトラブルがあった際、俺が話してくると言って、嫁さんに止められたことがありました。でも何かあった時に親が助けてくれるという思いが伝わっていたら、何かあった時に子どもも踏ん張れると思います。

中)子ども同士で解決できるように促すにしろ、過保護でも、過放任でもない、ちょうど良いバランスで温かく見守り、必要なところでは関わっていくよという周囲の大人の姿勢は子どもの安心につながりますよね。

松江での子育てはいかが？

鈴)都会過ぎず、田舎過ぎずで、ちょうどいいですね。大阪だと通勤に1時間以上かかることも多くて、僕は朝6時半ごろに家を出て満員電車に乗って、夜帰るのは23時とか24時過ぎ。平日はほとんど子どもの顔が見れませんでした。こちらに来てからは、通勤時間が5分になったので、単純に毎日2時間以上使える時間が増えたとし、体感的にはもっとゆとりを感じています。よく地方の賃金の低さが言われますけど、**そういうゆとりある時間や生活をお金に換算したら、給料のマイナス分以上の価値があると思うんです**。そういうことを、もっと上手に都会の人たちにアピールしたらいいのになあ。

藤)僕も同じで、関西に住んでいる時は、精神的に余裕がなくて子どもに当たってしまうこともありました。今は当時に比べて、だいぶゆとりが持てるようになりました。

中)まさに、プライスレス。お金では買えない価値ある暮らし方が松江ではできるといえることですね。もう一度、都会での生活に戻りたいと思うこともありますか？

藤・鈴)ないというか、もう無理ですね(キッパリ)。よう満員電車で1時間も立っただけで思えますよ。

中)もっとこうだったらいいのにと思うところはありますか？

鈴)本当は松江のように環境の良いところで子どもを育てたいけど、とっかかりがなかったり、生活の不安で迷っている人が調べた時に、パッと必要な情報にたどり着けるように、窓口は分かりやすくする必要があります。僕が調べた時は入り口が多すぎて、アチコチにつながれた結果、「あなたが求めているような制度はありません」と言われてしまって。それでも、いろいろと模索しながら 準備を整えて移住をかなえましたけど、あとでサポート制度があるって分かって。あの時に知りたかった。

奈)ごめんなさいって感じです(涙)。松江市とふるさと島根定住財団、どちらに相談があった場合でも、必要な人・組織・情報につなげられるように連携して、民間の方の力も借り、Uターンターンを考える方の総合窓口の役割でありたいと思っています。気合入ります！

藤)**お年寄りの方と子どもたちが触れ合う場があるといいですね**。接する機会が少ないと、お互い何を考えているのか分からなくて怖さを感じてしまうこともある。同世代だけでなく、いろんな世代が日ごろから交流することで、歴史や文化など生きた学習ができると思います。あと空き家が多いのももったいない。この場所に住み、何かをやってみたいと思っている人がいて、空いてる場所があるのに何もできないってホンマもったいないと思います。いろんな事情があるみたいですけど、そこが動いていけば、もっとまちに活気が出てくるのに。



鈴木健暁さん



奥山英徳さん



奥)私はいろんな方にお寺に来てもらいたい、広い世代の方が集まる場として使ってもらいたいと思います。このカフェを開きライブなどのイベントも開催しました。お寺は昔から半公共の場でもあるので、いろんな形で使ってもらうこともできます。たくさんあるお寺と才能ある人たちが一緒に動き出せば、広い世代が交流できる場になれると思います。

鈴)今日こちらに来て、お寺のイメージがメチャ変わりました！松江は保守的なイメージがあったりするけど、実は毎週のようにいろんな場所でいろんな人が思いを持ってイベントをしていたりして、すごくエネルギーやなあと思います。こういうお店やイベントの情報も、行きだすと次につながっていくけど、あまりアクティブではない人にも伝える場所や方法がもっとほしいですね。

石)この4、5年でイベントが増えて、ずいぶん変わってきましたよね。そうだ、山口さんにRubyでイベントアプリを作ってもらおう！シニアの方たちには、画面を見せたら割引の制度も作って。ITのまちで、世代間交流も盛んなまち松江！！

一同)それいいですねー！！

藤)**それから地元の人にもっと地元を好きになってほしい**と思います。「なんでわざわざ都会からこんな何もなところ？」と聞かれることが多いですが、景色もいいし、料理人の目から見ても食材のクオリティーが高い。必要なものは十分あるし、何にも代えがたい心のゆとりが持てる。市民1人ひとりが、そういう魅力に気づいて観光大使になれば、一過性じゃない地域おこしができると思います。

石)全く同感ですね。やっぱり知り合いからの情報はリアルで強い。都会暮らしに疑問やストレスを感じている人に「松江ならこんな暮らし方もできるよ。来ちゃえばいいじゃん」と言ってあげる人が増えていいですね。

鈴)実際住んでいる人の口コミってかなり効きますからね。観光地としても、住む場所としても、とても魅力的なのにまだまだ知られてないのがもったいない。友達に海のキレイさと関西からかかる時間を伝えたら、リピーターになって、さらに友達まで連れてきてくれます。関西の人にとって松江はかなり遠いイメージがあるみたいで、車で3時間くらいで着くと言うとビックリされるんで、ここから松江まで、何Kmみたいな看板をアチコチにつけたらいいのと思います。

一同)それもいいねー！！

REPORT!!

子どもたちを抱っこしたり、おやつを食べたりしながら、熱く育児や松江について語っていただきました。こうしてざっくばらんに話せる場で出てくるアイデアを、お互いに協力して実現していけたら、ますます暮らしやすく活気のあるまちを作っていけそうですね。皆さんありがとうございました！



山口友洋さん

Uターンを希望されている方の窓口

●松江市定住企業立地課
TEL: 0852-55-5660
E-mail: teijukigyoushou@city.matsue.lg.jp

●ふるさと島根定住財団
TEL:0852-28-0690
E-mail: shimane@teiju.or.jp